



平井西小だより

令和6年 11月 4日
江戸川区立平井西小学校
校長 藤澤 優子
11月号 No.7

ふれあい月間～相手を思いやる心～

「かかわり」「共育・協働」～心と心の絆を深めながら～

校長 藤澤 優子

朝夕肌寒い季節となりました。11月も行事が多い月となりますが、元気に乗り切って12月を迎えてほしいと思います。

6年生は、下級生からの応援を受け、区の体育大会に臨みました。一人ひとり記録を伸ばすことができ、素晴らしい活躍でした。なかよし班による、ふれあい給食も行われました。今年は、外でお弁当給食を食べることができました。子供たちもクラスの中の様子と



は少し違う姿が見られます。「異学年とのかかわり」は、どれもが大切な学びとなります。今後もなかよし班活動を続けてまいります。5年生は、田植えの時お世話になった鶴岡市の方に再度来校いただき、稲刈りを行いました。かまを上手く使うことができていました。これから稲を干して藁になっていきます。まだまだ学習が続きます。1年生は秋探し、2年生は地域学習、3年生は小松菜、味覚などの食育授業、4年生は清掃工場見学、どの学年もたくさんの方にお世話になりながら深い学びができた10月となりました。

11月は、ふれあい月間となります。11月4日の全校朝会で子供たちに話したことを紹介します。「毎年6月、11月、2月と各学期に1回ずつ行っています。いじめや暴力などをなくし、仲良く学校生活を送るための取り組みです。いじめや暴力をなくすためには、絶対に『しない』『させない』『見逃さない』という気持ちを持つことが大切です。まずは、『しない』人の嫌がることをしていないか、ふれあいアンケートで振り返ってみてください。『させない』見たら止める。止めることで、人の嫌がることをしている人に気づかせることができます。また、嫌な思いをしていることを周りの友達や大人に伝えることです。『見逃さない』いつもより友達が元気がないなど気がつくことがあると思います。気づいたら声をかけたり、大人に相談したりしてください。助けてあげようとしている源になっているものは、人の心、気持ちです。ふれあい月間では、友達への優しい言葉かけや行いをたくさんしてほしいです。今月はいつも以上に意識して取り組んでみてください。まずは1か月間、その積み重ねをしてみましょ。308人の全校児童で温かい心のふれあい、通い合いのできる素敵な学校を創ってほしいと思っています。」

話の後にふれあいアンケートを一人ずつ行いました。今後子供たちは、担任の先生との面談を行います。ご家庭でも話題に取り上げていただけますよう、ご協力をお願いいたします。